

平成19年2月21日

平成18年度厚生労働科学研究
「外科手術のアウトカム要因の解析と評価方法に関する研究」
進捗状況の報告

主任研究者 大江 和彦
(東京大学大学院医学系研究科)

＜対象術式と学会＞

研究班と共同で本研究を実施する学会と、調査対象の手術術式は以下の通りとなっている。

1. 日本外科学会
食道癌の食道全摘術、膵頭十二指腸切除術
直腸癌の直腸切除術/切断術、結腸癌の腹腔鏡下結腸切除術、
乳腺悪性腫瘍手術
2. 日本胸部外科学会
冠動脈バイパス術、弁膜症手術、
肺悪性腫瘍手術、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術
3. 日本脳神経外科学会
未破裂脳動脈瘤手術
- ④. 日本産科婦人科学会
子宮悪性腫瘍手術
- ⑤. 日本泌尿器科学会
腎癌に対する腎全摘術
- ⑥. 日本整形外科学会
人工股関節置換術、人工膝関節置換術

1, 2, 3については、学会が主体となって調査を実施・運営しており、調査期間途中であるため現時点では当研究班は進捗状況の詳細を把握していない。

④, ⑤, ⑥については、学会と連携し研究班が主体となって調査を実施・運営している。進捗状況の概略は以下のとおりである。

婦人科手術アウトカム研究 進捗状況 (2007 年 2 月 11 日時点)

<対象と方法>

◎調査対象

対象とする医療機関は、日本産科婦人科学会に登録されている 265 の婦人科腫瘍登録医療機関。

06 年 10 月 1 日～07 年 2 月 28 日の期間に、子宮頸癌に対する広汎子宮全摘術を受けた全ての患者を対象。

◎調査方法

調査参加に承諾した各医療機関の担当医師は、email アドレスを FAX, 郵送, email のいずれかの方法で登録。

email アドレス登録後、研究班から各担当医師に email の添付ファイル (Microsoft Excel) にて、調査票を送信。各医師は調査票に記入して研究班に返信。

◎調査票の種類

(1)医療機関情報

医療機関ごとに 1 回答。平成 17 年における子宮頸癌に対する広汎子宮全摘術・年間件数を入力。

(2)症例票

症例ごとに 1 回答。

症例票は、その患者の担当医師（またはそれに準じる医師）が作成。

症例票は、原則として患者の退院時に作成。07 年 3 月 30 日までに退院（死亡・転院・転科を含む）した患者の症例票は、退院時に作成。07 年 3 月 30 日時点でまだ入院中の患者については同日時点で作成。

<参加を承諾いただいた施設>

◎参加依頼の方法

初回は郵送による依頼、無回答施設には電話による依頼（1 回実施済）

◎参加承諾の状況

参加依頼を郵送・電話でお願いした 265 施設中、上記手術の実施例が無く、将来の予定も無いことが判明した 16 施設は、調査対象から外した。

残る対象 249 施設のうち、

協力可能 : 187 施設 (75.1%)

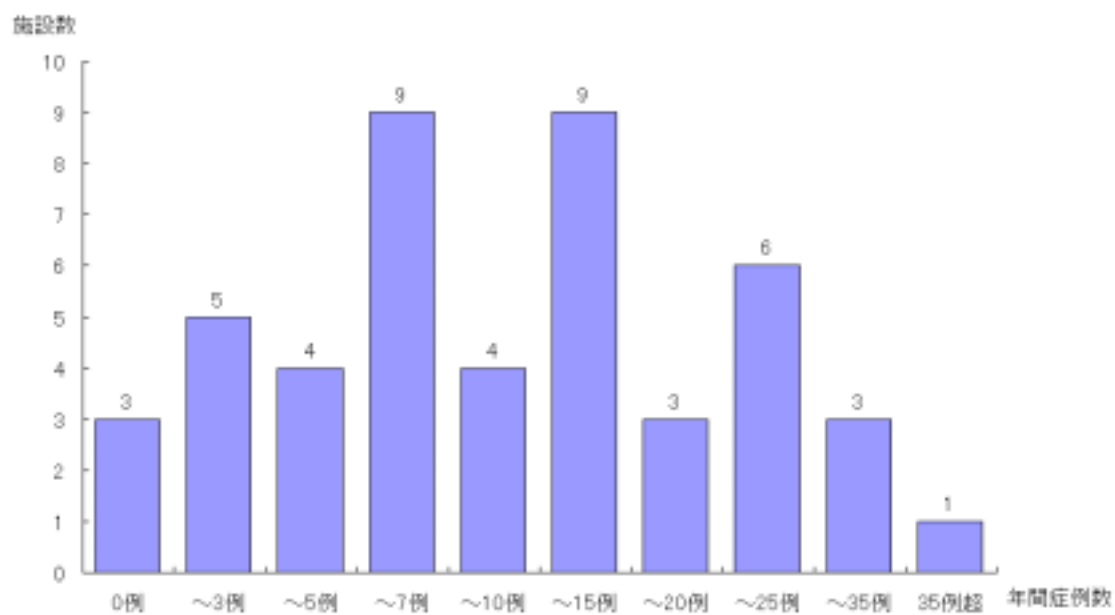
協力困難 : 22 施設

保留・無回答 : 40 施設

＜医療機関票の登録状況＞

参加承諾 187 医療機関のうち、2 月 11 日までに 47 医療機関が医療機関票を返信。

図 1. 子宮頸癌に対する広汎子宮全摘術・施設別・年間症例数（平成 17 年）
(n=47)



＜症例票の登録状況＞

2 月 11 日現在、45 医療機関から計 127 症例が登録済みである。

泌尿器科手術アウトカム研究 進捗状況 (2007 年 2 月 11 日時点)

<対象と方法>

◎調査対象

対象とする医療機関は、学会に登録されている 1216 医療機関。
06 年 11 月 1 日～07 年 2 月 28 日の期間に、根治的腎全摘術を受けた全ての患者。

◎調査方法

回答者は調査専用 web サイトにアクセスし、画面上で質問票に直接入力。

◎調査票の種類

(1) 医療機関情報

医療機関ごとに 1 回答。平成 17 年における根治的腎全摘術・年間件数を入力。

(2) 症例票

症例ごとに 1 回答。

症例票は、その患者の担当医師（またはそれに準じる医師）が作成。

症例票は、原則として患者の退院時に作成。07 年 3 月 30 日までに退院（死亡・転院・転科を含む）した患者の症例票は、退院時に作成。07 年 3 月 30 日時点でまだ入院中の患者については同日時点で作成。

<参加を承諾いただいた施設>

◎参加依頼の方法

初回は郵送による依頼、無回答施設には電話による依頼（2 回実施済）

◎参加承諾の状況

参加依頼を郵送・電話でお願いした 1,216 施設中、上記手術の実施例が過去になく将来の予定も無いことが判明した 95 施設は、調査対象から外した。

残る対象 1,121 施設のうち、

協力可能 : 817 施設 (72.9%)

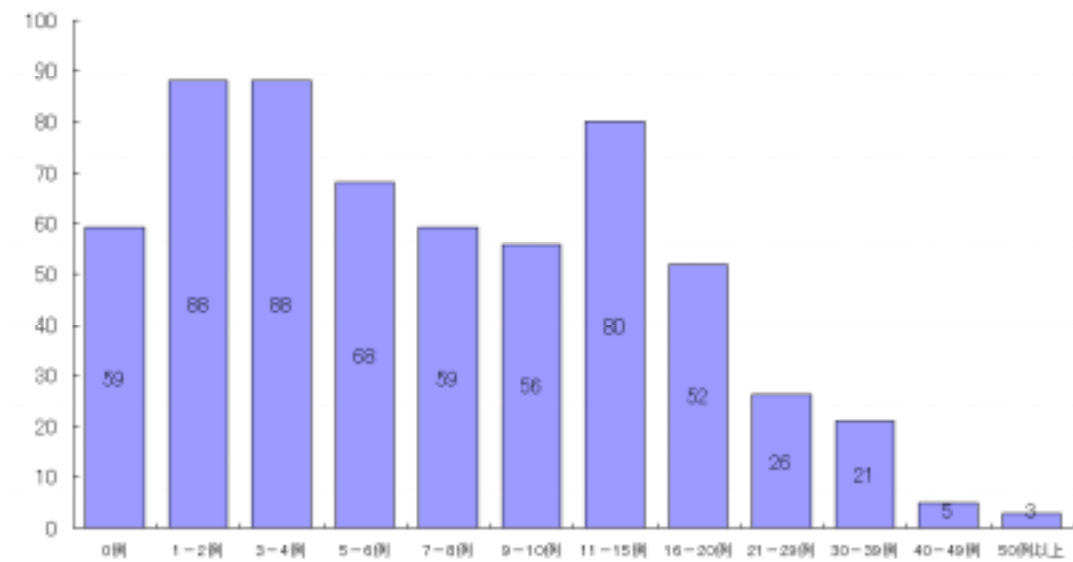
協力困難 : 81 施設

保留・無回答 : 223 施設

＜医療機関票の登録状況＞

参加承諾 8 1 7 医療機関のうち、5 9 5 医療機関は医療機関票の入力を完了。

図 1．腎癌に対する腎全摘術・施設別・年間症例数（平成 17 年）（n=595）
（施設数）



＜症例票の登録状況＞

2 月 11 日現在、197 医療機関から計 488 症例が登録済みである。

整形外科手術アウトカム研究 進捗状況 (2007 年 2 月 11 日時点)

<対象と方法>

◎調査対象

対象とする医療機関は、学会に登録されている 2,061 医療機関。

06 年 11 月 1 日～07 年 3 月 31 日の期間に、人工股関節置換術(THA)、人工膝関節置換術(TKA)を受けた全ての患者。

◎調査方法

回答者は調査専用 web サイトにアクセスし、画面上で質問票に直接入力。

◎調査票の種類

(1)医療機関情報

医療機関ごとに 1 回答。平成 17 年における THA および TKA の年間件数を入力。

(2)症例票

症例ごとに 1 回答。

症例票は、その患者の担当医師（またはそれに準じる医師）が作成。

症例票は、原則として患者の退院時に作成。07 年 4 月 30 日までに退院（死亡・転院・転科を含む）した患者の症例票は、退院時に作成。07 年 4 月 30 日時点でまだ入院中の患者については同日時点で作成。

<参加を承諾いただいた施設>

◎参加依頼の方法

初回は郵送による依頼

無回答施設には電話による再依頼を実施中

◎参加承諾の状況

参加依頼を郵送(+電話)でお願いした 2,061 施設中、上記手術の実施例が無く、将来の予定も無いことが判明した 247 施設は、調査対象から外した。

残る対象 1,814 施設のうち、

協力可能 : 755 施設 (41.6%)

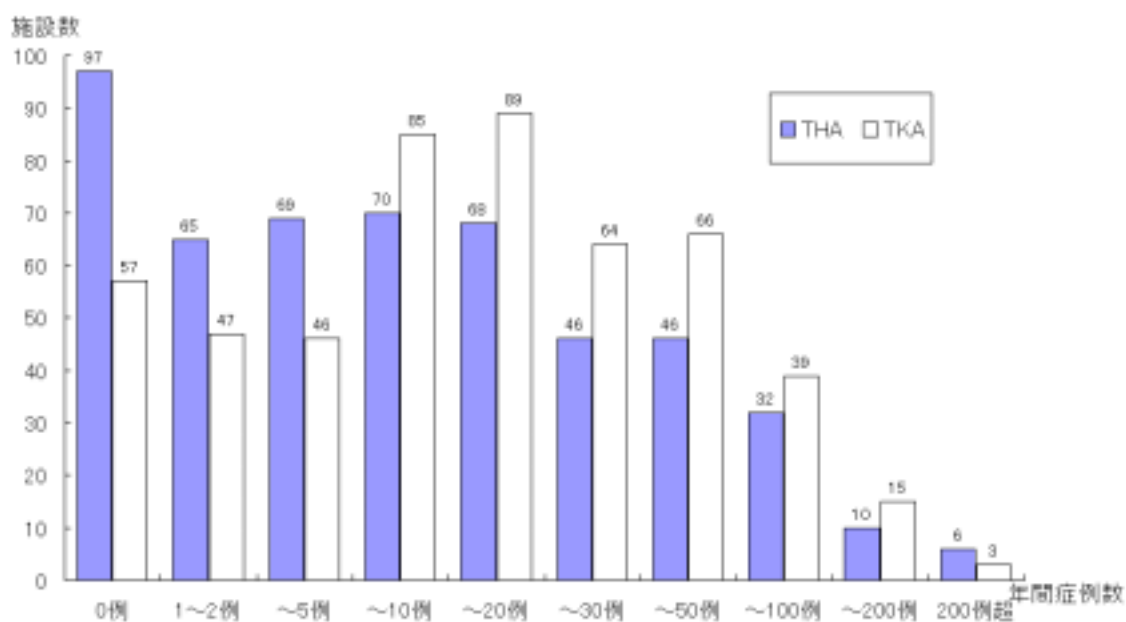
協力困難 : 109 施設

保留・無回答 : 950 施設

＜医療機関票の登録状況＞

参加承諾 7 5 5 医療機関のうち、
509 医療機関は THA の医療機関票の入力を完了。
511 医療機関は TKA の医療機関票の入力を完了。

図 1. THA および TKA・施設別・年間症例数（平成 17 年）
（THA: n=509, TKA: n=511）



＜症例票の登録状況＞

2 月 11 日現在、
THA は、8 6 医療機関から計 3 8 2 症例が登録済みである。
TKA は、9 9 医療機関から計 3 9 3 症例が登録済みである。

以上。